

就職 & キャリアサポート

就職支援 一人一人が納得できる結果を勝ち取るためのサポート

学生に寄り添うサポート
学生一人一人に寄り添い、ともに内定・合格を勝ち取る「個別支援」
■個別相談(予約/随時) ■模擬面接指導
■エントリーシート、履歴書添削指導 他

就職活動スタート後の活動に関するサポート
企業・団体との「出会い」支援
■学内企業説明会(随時) ■大学主催合同企業説明会 他

就職活動の準備に関するサポート
就職活動に必要な知識・スキルを身につける「進路ガイダンス」
ガイダンス(一例)
知識 ■自己分析講座 ■業界・企業・職種研究 他
スキル ■エントリーシート作成講座 ■筆記試験講座 ■面接講座 他
仕上げ ■就職活動総合セミナー(1泊2日合宿) 他

キャリア支援 一人一人のキャリア形成に必要な学び

3年次
正課授業 **キャリア研究**
インターンシップ、就職活動に必要なビジネスマナーや業界・企業・職種について学ぶ。就職活動の全プロセスを網羅したガイダンスで、本番に備える。

2年次
正課授業 **キャリア開発**
自らの視野や可能性、職業選択の幅を広げ、2年次で行うべきことや、情報収集の方法を学ぶ。経営者の方から直接お話を聞く機会から、企業選択基準・職業観を養う。

1年次
正課授業 **キャリア設計**
大学生生活の目標と将来設計の基本的な知識と技術を身につける。

進路に関する最新情報をSNSで配信中!
@isu_shinro
石巻専修大学 進路支援室

石巻専修大学は、学生の就職活動に備え、「就職支援」と「キャリア支援」を柱に、充実したサポートを行っている。高い就職決定率を記録した2018年3月卒業生の進路状況、本学の支援態勢、現在就職活動中の4年次生の声と、卒業生の活躍を紹介する。

18年3月卒業生就職決定率

7年連続上昇 99.6%

18年3月卒業生の就職希望者に対する就職決定率は99.6%(前年度比3.7ポイント増)となり、7年連続で上昇した。企業採用意欲が高まるなか、学生たちは健闘した。学部別では理工、人間関係が26.5%と高く、機械工学科は製造業が50%、人間教育学科は教育関係が26.5%と高く、就職先を都道府県別で見ると北海道・東北が57.5%(同10.1ポイント増)。地元・宮城県出身学生の県内就職率は48.0%だった。

就職先を都道府県別で見ると北海道・東北が57.5%(同10.1ポイント増)。地元・宮城県出身学生の県内就職率は48.0%だった。

キャリア支援

進路支援室は年60回以上の支援プログラム22回を真は5月17日IIを実施している。必要な知識を学ぶ各種講座、内定を得た4年次生から話を聞く評価も高い。

また、経験豊富なスタッフが学生一人一人をフォローし、エントリーシートの添削や個別相談に対応している。17年度の就職相談は延べ3098件。進路支援室の利用満足度は86.6%。学生が納得できる結果を勝ち取るよう、きめ細かなサポートを行っている。



17年度入学生から正課授業の一環としてキャリア支援に関する講義を開講している。グループワークや社会で活躍する卒業生らの講演などを通して、学生たちは働き方、将来設計について考え、社会と関わる心構えを学んでいる。

1年次に履修する「キャリア設計」では、グル

故郷石巻で小学校教諭 阿部 智子さん

人間教育学科1期生

創意工夫で楽しい授業



教育実習を控える3年次生に経験を伝える阿部さん(5月8日、石巻専大)

「授業が面白くて子どもの心に寄り添ってくれる先生がいれば、学校は楽しくなる」。石巻市立蛇田小学校に勤務し2年目になる阿部智子さんは、そう語る。地元で活躍する小学校の教諭を養成しようと石巻専修大学が2013年に開設した人間学部人間教育学科の1期生(17年3月卒)だ。

蛇田小では創意工夫でわかりやすい授業を目指している。昨年受け持った2年生には、算数の九九の指導で手描きのイラストを使った。「六の段をチーズの絵で『1箱なら6個、2箱なら12個だね』と説明すると掛ける数、掛けられる数が理解しやすかったようです。何の絵が出てくるか次の授業も期待してくれました」

4年生(33人)を担任する今年度は、漢字の書き取りを「漢字道場」と名付け、段位制に。8字覚えると昇段できるため、子どもは先取りするの

夢中。「友達と助け合うクラス」を学習目標に掲げ、お互いの意見を認め合えるクラスにしようと呼び掛けた。

蛇田小は災害支援住宅や宅地の整備で人口が急増する地区にあり、全校児童806人と市内33の小学校の中で一番規模が大きい。

石巻市生まれの阿部さんは小学生時代の2人の先生を慕い、教員を目指した。石巻専大に入学後は、1年次から学習支援や特別支援学校の文化祭にボランティアで参加、地域の人々の子どもへの思いに接した。教員採用試験に向けた自主学習では、不安を解消してくれた有見正敏特任教授に感謝する。

「相談に乗っていただき心強かった。小論文の指導で文章力がつきました」。初任者研修に追われる間も学級便りの発行を続けてきた。

今春、石巻専大を訪れ、教育実習を控える3年次生に自身の経験ややりがいを語った。「子どもたちに前向きに、という心がけています。皆さんも『やればできる』の精神で挑戦して」と呼び掛けた。

4年次生就活奮闘中

理工学部 高橋秀典さん(宮城県古川黎明高)

食に関わる仕事に



環境学科で学び、人に関わる仕事がしたいと間にとって大切な「食」という思いが強くなりました。

3年次の夏期休暇に参加した二つのインターンシップをきっかけに、就職活動本番に向けて意識を切り替えることができました。就活中は時間の流れが速く、自ら行動を起こしていくことが必要だと思えます。

就職活動総合セミナーで模擬面接を繰り返したことは、自分の殻を破ることになりました。

人間学部 加進千智さん(宮城県仙台市立仙台高)

公務員が第一志望



人間文化学科で学び、一次から公務員試験対策講義が第一志望。2年 座を受講、今年2月には就職活動総合セミナーに参加し、模擬面接で自身を見つめ直し、体のほか民間企業約10社にエントリーしました。

進路支援係のスタッフから助言をもらい添削指導を受けたことが支えになっています。

公務員試験はこれから秋まで続きます。民間企業か公務員か、結果はどうなるにせよ、一つ一つ精いっぱい取り組んでいきたいと思っています。